

前号の訂正について

■前号（通算112号）の「教職員異動」の訂正

通算112号 編集責任者 西山秀昌
(医歯学系・准教授、顎顔面放射線学分野)

前回の巻末に掲載いたしました教職員異動ですが、一部誤りがありました(部分的に一行ずれてしまっています)。関係各位の皆様には、大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。この場を借りまして、お詫び申し上げます。謹んで、訂正内容を下記に記載させていただきます。

誤

異動区分	発令年月日	氏名	異動内容	異動前の職名
退職	20. 3. 21	前川 孝治		顎顔面外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	小玉 直樹		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	中里 隆之		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	五島 秀樹		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	相川 弦		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	加藤 祐介		歯の診療室・医員
退職	20. 3. 31	若松 里佳		歯周病診療室・医員
退職	20. 3. 31	天沼 亮子		矯正歯科診療室・医員
退職	20. 3. 31	原田 史子		歯科総合診療部・医員
退職	20. 3. 31	庭野 友理子		歯科総合診療部・医員
退職	20. 3. 31	仲川 なぎさ		摂食・嚥下機能回復部・医員
退職	20. 3. 31	富樫 元子		歯科技工部門・医員
退職	20. 3. 31	木村 睦美		義歯(冠・ブリッジ)診療室・歯科技工士
退職	20. 3. 31	白倉 正基		義歯(冠・ブリッジ)診療室・助教
退職	20. 3. 31	竹石 英之		口腔再建外科診療室・助教
退職	20. 3. 31	佐藤 秀樹		歯の診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	本間 春菜		小児歯科診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	津田 高		歯周病診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	西村 雄介		義歯(入れ歯)診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	真柄 仁		顎顔面外科診療室・レジデント

正

異動区分	発令年月日	氏名	異動内容	異動前の職名
退職	20. 3. 21	前川 孝治		歯科麻酔科診療室
退職	20. 3. 31	小玉 直樹		顎顔面外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	中里 隆之		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	五島 秀樹		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	相川 弦		口腔再建外科診療室・医員

異動区分	発令年月日	氏名	異動内容	異動前の職名
退職	20. 3. 31	加藤 祐介		口腔再建外科診療室・医員
退職	20. 3. 31	若松 里佳		歯の診療室・医員
退職	20. 3. 31	天沼 亮子		歯周病診療室・医員
退職	20. 3. 31	原田 史子		矯正歯科診療室・医員
退職	20. 3. 31	庭野 友理子		歯科総合診療部・医員
退職	20. 3. 31	仲川 なぎさ		歯科総合診療部・医員
退職	20. 3. 31	富樫 元子		摂食・嚥下機能回復部・医員
退職	20. 3. 31	木村 睦美		歯科技工部門・医員
退職	20. 3. 31	白倉 正基		義歯(冠・ブリッジ)診療室・歯科技工士
退職	20. 3. 31	竹石 英之		義歯(冠・ブリッジ)診療室・助教
退職	20. 3. 31	佐藤 秀樹		口腔再建外科診療室・助教
退職	20. 3. 31	本間 春菜		歯の診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	津田 高		小児歯科診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	西村 雄介		歯周病診療室・レジデント
退職	20. 3. 31	真柄 仁		義歯(入れ歯)診療室・レジデント

なお、今回の誤りはエクセルシートでの操作時に発生しております。私にとっては、予期せぬ事態であり、今後、同様の操作で、知らない間に重要なデータを壊してしまうおそれがあります。検索が十分でないかも知れませんが、ネットで検索しても、本件に相当する事例と対処について記載されていたのは一件のみであり、注意喚起の意味も含めて、下記にて情報を提供させていただきます。

データ処理に潜む罠・エクセル操作に関する注意事項

エクセルは非常に使いやすく、日常業務で使っておられる方が多いと思いますが、思わぬ落とし穴がありますので、注意が必要です。通常思わぬミスが発生すれば、目の前でデータが変化するので良く分かり対処可能です。最悪でも、設定した関数が書き換えられる程度で済むため、注意していれば、対処することができますし undo にて復帰できます。しかしながら、「オートフィルター」を設定した状態で、かつ、ある一定の条件下でコピーとペースト操作を行うと、見えていないデータ（不可視データ）が破壊され、かつ、確認できた時（「オートフィルター」でのフィルタを解除した途端）undo ができない状態になることを知りました。ただし、コピー&ペースト操作と、ほぼ同等の結果をもたらす「オートフィル」（データ選択範囲の右下隅を掴んでドラッグする）では、「オートフィルター」を設定した同一条件下にても、問題なく思った通りの結果が得られます。

前号の「教職員異動」にて部分的に一行ずれていたことに出版後に指摘されて気付きました。操作時に保存していたファイル群を遡ってみたところ、何らかの操作時に不具合が発生したことまでは分かりました。しかしながら、その原因については、つい最近まで分からないままでした。

先日、別のデータベースにて、マクロを利用した操作を行うと、勝手にデータが消えるという事態に遭遇しました。その時、「オートフィルター」を設定した状態で、かつ、ある一定の条件下での操作に関連して事故が発生していることが分かりました。このことに気付いた後も、「どうしてそうなったのか？」が分からないままでしたが、今回の訂正原稿を書くに当たって、実験的にやってみて再現できましたので、注意喚起を兼ねて、報告することにしました。

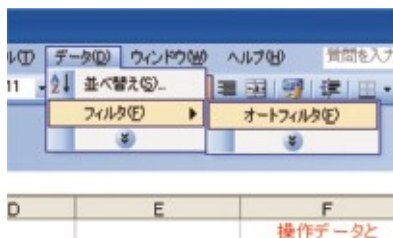
なお、本件に関連する情報について、インターネットで検索をかけると、「オートフィルター」にて気をつけなければならない操作がまとめられていましたが、思い通りの結果にならない操作については「試行錯誤的に理解していくしかない」とのことでした。

参考 URL : <http://q.hatena.ne.jp/1188424422>

ネット上、有用な情報は、他には発見できませんでした。

1. 実験データについて

「連番」、「記号」、「操作データ」の3つを対象とします。「元データ」、「目的データ」、「操作データと目的データとの整合性チェック」は、以下の各種処理後の「操作データ」の変化を分かりやすくするために設けました。「オートフィルター」を設定するには、設定したい領域を選択後（ないし設定したい領域内の1ヶ所を選択後）、「データ」→「フィルタ」→「オートフィルター」とします。また、エクセル内での日本語表記上、「ペースト」は「貼り付け」になっていますので、操作手順の文中では、「貼り付け」に統一します。



の記号のついた列に、「オートフィルター」が設定された状態になっています。

この状態で、「記号」が「b」のところの「操作データ」が「BBX」のデータを、全て「BBB」にすることを想定します(今回のデータにて、上記操作を行うには、オートフィルターを使うよりも、もっと簡単な方法があるでしょうが、簡略化したデータでの再現実験なので、ご容赦下さい)。

	A	B	C	D	E	F	G
	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的データとの整合性チェック	
1							
2	1	a	AAA	AAA	AAA	O	
3	2	a	AAA	AAA	AAA	O	
4	3	b	BBB	BBB	BBB	O	
5	4	b	BBB	BBB	BBB	O	
6	5	c	CCC	CCC	CCC	O	
7	6	a	AAA	AAA	AAA	O	
8	7	c	CCC	CCC	CCC	O	
9	8	b	BBX	BBX	BBB	X	
10	9	b	BBX	BBX	BBB	X	
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O	
12	11	c	CCC	CCC	CCC	O	
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O	
14	13	b	BBX	BBX	BBB	X	
15	14	b	BBX	BBX	BBB	X	
16	15	a	AAA	AAA	AAA	O	
17	16	c	CCC	CCC	CCC	O	
18	17	b	BBX	BBX	BBB	X	
19	18	c	CCC	CCC	CCC	O	
20	19	a	AAA	AAA	AAA	O	
21	20	c	CCC	CCC	CCC	O	
22							

2. 操作手順

1) オートフィルターにて「記号」が「b」であるものを選択します。

The screenshot shows a Microsoft Excel window titled "Microsoft Excel - ミスの手順.xls". The active sheet is named "連番". The table has the following columns: A (連番), B (記号), C (操作データ), D (元データ), E (目的のデータ), and F (操作データと目的のデータとの整合性チェック). The filter on column B is set to "b".

	A	B	C	D	E	F
	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的のデータとの整合性チェック
1						
2		昇順で並べ替え 降順で並べ替え	AAA	AAA	AAA	O
3			AAA	AAA	AAA	O
4		(すべて) (トップテン) オプション)	BBB	BBB	BBB	O
5		a	CCC	CCC	CCC	O
6		b	AAA	AAA	AAA	O
7		c	CCC	CCC	CCC	O
8	7	c	CCC	CCC	CCC	O
9	8	b	BBX	BBX	BBB	X
10	9	b	BBX	BBX	BBB	X
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O
12	11	c	CCC	CCC	CCC	O
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O
14	13	b	BBX	BBX	BBB	X
15	14	b	BBX	BBX	BBB	X
16	15	a	AAA	AAA	AAA	O
17	16	c	CCC	CCC	CCC	O
18	17	b	BBX	BBX	BBB	X
19	18	c	CCC	CCC	CCC	O
20	19	a	AAA	AAA	AAA	O
21	20	c	CCC	CCC	CCC	O
22						

The screenshot shows the same Microsoft Excel window, but the data is filtered to show only rows where the '記号' column is 'b'. The visible rows are 4, 5, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 18, 22, 23, and 24.

	A	B	C	D	E	F
	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的のデータとの整合性チェック
4	3	b	BBB	BBB	BBB	O
5	4	b	BBB	BBB	BBB	O
9	8	b	BBX	BBX	BBB	X
10	9	b	BBX	BBX	BBB	X
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O
14	13	b	BBX	BBX	BBB	X
15	14	b	BBX	BBX	BBB	X
18	17	b	BBX	BBX	BBB	X
22						
23						
24						

2) 次に、C4からC5のセルを選択し、「編集」→「コピー」とします (ctrl-Cで可)。

- 3) C9を選択（もしくは、C9とC10の両方を選択）し、右クリックで「貼り付け」します（ctrl-Vで可）。

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the spreadsheet 'ミスの手順.xls'. The active cell is C9, containing 'BBX'. A right-click context menu is open over this cell, with the '貼り付け' (Paste) option highlighted. The spreadsheet data is as follows:

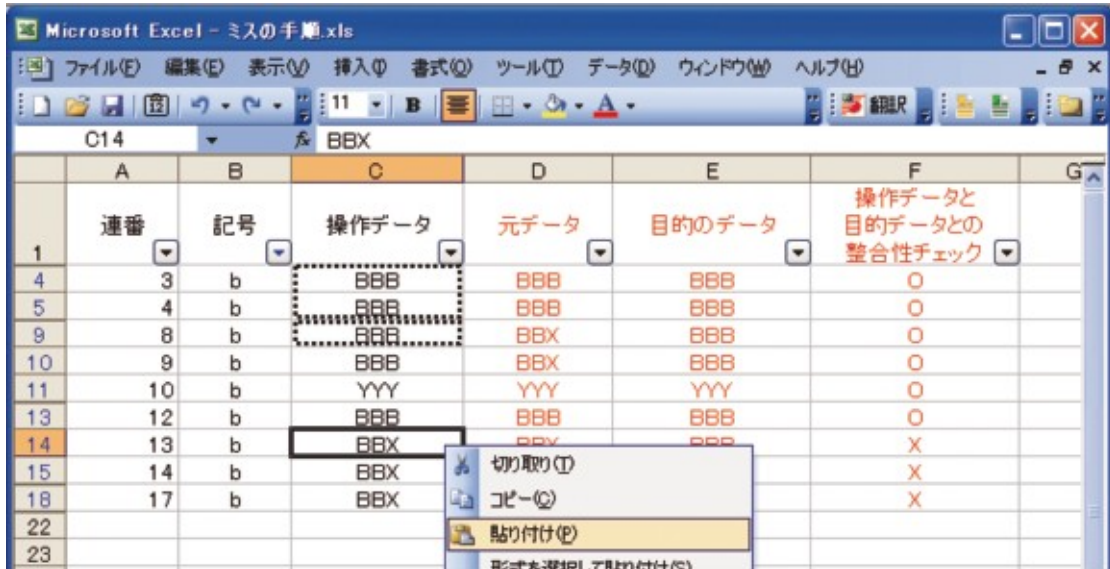
	A	B	C	D	E	F
1	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的のデータとの整合性チェック
4	3	b	BBB	BBB	BBB	O
5	4	b	BBB	BBB	BBB	O
9	8	b	BBX	BBX	BBB	X
10	9	b	BBX	BBX	BBB	X
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O
14	13	b	BBX	BBX	BBB	X
15	14	b	BBX	BBX	BBB	X
18	17	b	BBX	BBX	BBB	X

- 4) 次に、操作データ C14、C15、C18について処理します。ここで、C4、C5、C9のセルを選択して「コピー」し、

The screenshot shows the same Microsoft Excel spreadsheet. Cells C4, C5, and C9 are now selected, indicated by a thick black border. The context menu is no longer visible. The spreadsheet data remains the same as in the previous screenshot.

	A	B	C	D	E	F
1	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的のデータとの整合性チェック
4	3	b	BBB	BBB	BBB	O
5	4	b	BBB	BBB	BBB	O
9	8	b	BBX	BBX	BBB	X
10	9	b	BBX	BBX	BBB	X
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O
14	13	b	BBX	BBX	BBB	X
15	14	b	BBX	BBX	BBB	X
18	17	b	BBX	BBX	BBB	X

5) 次に、C14、C15、C18に「貼り付け」します。

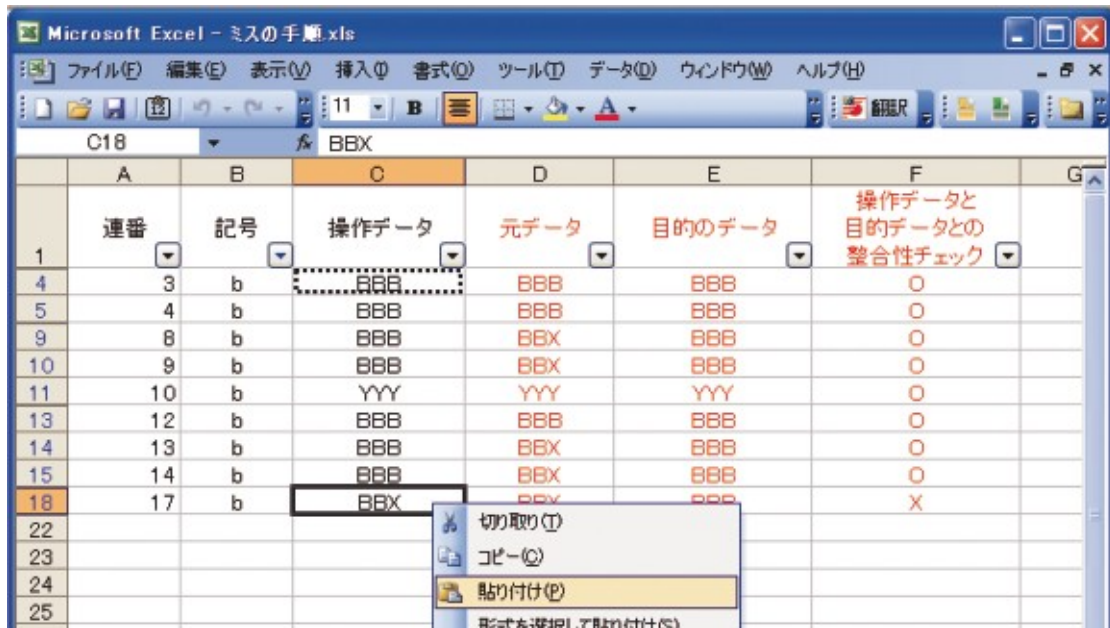


6) 上記段階で、3つのセルに「貼り付け」たはずなのに、2つのセルにのみ「貼り付け」されているだけです。

通常、「あれっ」と思うのですが、何らエラーダイアログも表示されず、「貼り付け」るセルの数が多ければ、「もしかしたら選択するときにミスをしたかな?」と思う程度です。しかしながら、ここで、既にデータが破壊されています。

今回の事件では、上記のようなことが起こったという記憶が残っていないのですが、大量のデータがずれていたため、気付きにくかった可能性が高いです。また、2回の校正を経ているのですが、処理前のデータが、歯学部ニュースのフォームと異なり、異動内容欄が一つしかなく、異動前と異動後とが混在している状況でした。もう少し詳しく言うと、内容が異動前か異動後かの判定は、異動区分にて判断するといったデータでした。そのため、校正時には処理後のデータ(誤ったデータ)と比較していたことも原因の一つとなっています。

7) とりあえず、最後のセルである C18 に「貼り付け」を行って終了します。



8) で、「オートフィルター」で「すべて」を選択すると、



	A	B	C	D	E	F	G
	連番	記号	操作データ	元データ	目的のデータ	操作データと目的のデータとの整合性チェック	
1							
2	1	a	AAA	AAA	AAA	O	
3	2	a	AAA	AAA	AAA	O	
4	3	b	BBB	BBB	BBB	O	
5	4	b	BBB	BBB	BBB	O	
6	5	c	CCC	CCC	CCC	O	
7	6	a	AAA	AAA	AAA	O	
8	7	c	CCC	CCC	CCC	O	
9	8	b	BBB	BBX	BBB	O	
10	9	b	BBB	BBX	BBB	O	
11	10	b	YYY	YYY	YYY	O	
12	11	c	CCC	CCC	CCC	O	
13	12	b	BBB	BBB	BBB	O	
14	13	b	BBB	BBX	BBB	O	
15	14	b	BBB	BBX	BBB	O	
16	15	a	BBB	AAA	AAA	X	
17	16	c	CCC	CCC	CCC	O	
18	17	b	BBB	BBX	BBB	O	
19	18	c	CCC	CCC	CCC	O	
20	19	a	AAA	AAA	AAA	O	
21	20	c	CCC	CCC	CCC	O	

おわかりのように、15番目の「記号」=「a」の「操作データ」が「BBB」と変更されてしまっています。ここでは、コピー&ペースト操作時に、非表示部分のデータです。このようにデータが破壊されていたにもかかわらず、操作時に「目に見えない」のです。さらに、オートフィルターを解除して「見える状態になる」と、undo ができない状態になっています。

3. まとめ

以上、細かな説明となりましたが、言葉では非常に説明しにくく、例示するのが最も適切だと判断しました。今回上記を理解した上で再度ネット上を検索したところ、同様のことを記述しているであろう文章を見かけるのですが、引用させていただいた URL での記述に関連するところ以外、読み手側には十分伝わっていないことが多いように感じました。

医療事故やインシデントでも言えることですが、「思いこみ」が惨劇を招くことがあります。「思いこみ」やすい状況を見つけ出して、対応策を練っていくことが、よりよい医療へと結びつきます。

今回の投稿が、同様の惨事を未然に防ぎ、よりよい編集作業や、よりよい実験データの処理に結びつくことになれば幸いです。

■前号（通算112号）の「留学生紹介 P53-55」の訂正について

前号（112号）の「留学生紹介」P53-55に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤：Japanese → 正：Javanese

Javaneseとは“People from Java Island（ジャワ島）”の事を意味しています。執筆者のTetiana Haniastutiさんは、前号の留学生紹介でインドネシア・ジャワ島について紹介してくださっています。

